

平成28年度高浜地域における内閣府・3府県及び関西広域連合 合同原子力防災訓練(結果)について

平成27年12月に取りまとめられた「高浜地域の緊急時対応」を検証することなどを目的として、内閣府、福井県、京都府および関西広域連合との合同による原子力防災訓練を実施しました。

1 目的

- ・広域的な緊急時応急対策の決定に参画
- ・緊急時情報収集伝達および災害対策本部本部員会議運営に係る手順の確認
- ・緊急時モニタリングに係る原子力事業者との連携体制の確認

2 実施日時

平成28年8月27日(土) 8時～15時

3 参加人数および参加機関

- | | | |
|----------|---------|------------|
| (1) 参加人数 | 防災業務従事者 | 約2,000人 |
| | 住民 | 約7,000人 |
| うち滋賀県実施分 | 防災業務従事者 | 10機関 約140人 |
| | 住民 | なし |

(2) 参加機関(滋賀県実施分)

内閣府、彦根地方气象台、陸上自衛隊第3戦車大隊、滋賀県、滋賀県警察本部、長浜市、高島市、湖北地域消防本部、高島市消防本部、関西電力株式会社

4 訓練内容

(1) 訓練想定

- ア 関西電力株式会社高浜発電所において事故が発生。施設敷地緊急事態から全面緊急事態に至り、炉心損傷により放射性物質が周辺環境に放出した。
- イ 滋賀県においては、防護対策を要する影響なし。

(2) 訓練項目

- ア 緊急時情報収集伝達訓練 [会場：危機管理センター]
 - ・各種情報通信機器を活用した原子力事業者、国、福井県、県(オフサ

イトセンター派遣職員を含む。)、市および関係機関間の通報連絡事項の発信受信、情報整理・共有

イ 災害対策本部等本部員会議運営訓練 [会場：危機管理センター]

- ・災害対策本部（3回）開催【写真①、②】
- ・収集情報（モニタリング情報、気象情報、関西電力株式会社からの通報・報告）の共有【写真③】、状況認識統一
- ・各種情報・状況を踏まえた広域的な対策・対応の協議および決定



写真① 災害対策本部員会議



写真② 長浜市、高島市等とのテレビ会議



写真③ 収集情報の共有

ウ オフサイトセンター連携訓練 [会場：福井県高浜原子力防災センター]

- ・現地事故対策連絡会議（1回）、原子力災害合同対策協議会全体会議（3回）への参画【写真④】
- ・緊急時モニタリングセンターへの参画【写真⑤】
- ・滋賀県災害対策本部本部員会議、滋賀県緊急時モニタリング本部との連携



写真④ 原子力災害合同対策
協議会全体会議



写真⑤ 緊急時モニタリング
センター

- エ 緊急時モニタリング訓練 [会場：危機管理センター、県立びわ湖こどもの国、塩津園地] 【写真⑥】
- ・琵琶湖水のモニタリング（2箇所）



写真⑥ 緊急時モニタリング訓練

5 主な成果等

(1) 主な成果

- ・平成27年12月に取りまとめられた「高浜地域の緊急時対応」に基づき、テレビ会議システムや現地派遣職員を通じて県境を越えた避難等の広域的な防護措置の意思決定に参画する体制および県と長浜市・高島市との連携体制を確認した。
- ・原子力防災対策への協力に関する関西電力株式会社との申合せ（平成28年1月25日）に基づき、災害対策本部が琵琶湖水のモニタリングを要請し、2箇所（県立びわ湖こどもの国、塩津園地）でモニタリングを行った。

(2) 今後の対応

- ・ 広域的な対策について、内閣府および各府県がそれぞれ評価を行った後、全体評価を取りまとめる予定。
- ・ 県としては、参加機関と訓練結果を検証し、課題を洗い出し、マニュアルの改善等実効性の向上につなげていく。